



キク科の花咲くころ《中目黒公園》

みんなで探して 発見! 身近な自然

2015年9月1日発行
自然通信員だより第56号
めぐろいきもの气象台
Tel: 03-5722-9355
Fax: 03-3792-2112
〒153-8573 目黒区上目黒 2-19-15
目黒区みどり公園 課みどりの係

2015 みんなの発見!

5月11日シジュウカラ
(自由が丘2丁目通信員)



アオサギ。ウナギをゲット
目黒川 (通信員)

6月16日エナガの幼鳥
庭でチーチーなっていました
(緑が丘1丁目通信員)



5月12日カルガモの親子。目黒川船入場 (通信員)



1月24日
ジョウビタキ(オス)
目黒川の飛石の池から、ず
うっと追ってようやくカ
メラでキャッチしました。
(緑が丘1丁目通信員)

今年も見られるかな? 目黒川では珍しいスズガモ! (2014年11月20日 通信員)



スズガモ(メス)



(上)キंकロハジロ(オス)
(下)キंकロハジロ(メス)

東京湾など海辺にいる冬鳥。海岸付近や河口、海に近い池沼などに群れで生活しています。

オスは背中が灰色で、キंकロハジロのような冠羽(おさげ髪のような羽)がないのが特徴。

メスはキंकロハジロのメスとよく似ます。メスを見分けるポイントは、くちばしのつけ根の白い模様が太い、体の色が淡い点などがあげられます。

めぐろのいきもの气象台

いきもの	観察日	観測地・観察のようす
アブラコウモリ	3月29日	胴体長約6cm、幅4cm。毛が生えており、全体的に茶色かった。(中目黒4丁目通信員)
シジュウカラ	5月24日	11中グランド周辺。巣立ちピナ。(大岡山2丁目通信員)
アオバズク	5月18日	東工大の池周辺樹林。30秒程度継続してさえず。(自然通信員)
ホトトギス	5月26日	茂みからキョキョ・キョキョキョクと力強く鳴いていました。(碑文谷2丁目通信員)

みどりの活動紹介～楽しい公園施設にお出かけください～



自然と触れ合う憩いの場

自然と人里の間にある地域は「^{さとち}里地・^{さとやま}里山」といわれています。ここでは人々の影響を受けながら、独自の自然環境が存在し、様々ないきものが暮らしています。

駒場野公園には雑木林や農地など、里地・里山にとっても近い環境があります。そして、環境を守る人々の支えにより、貴重ないきものが見られるようになりました。

公園の環境は、人の意識次第で良きも悪しきも変化します。公園の未来は、人にもいきものにも優しい場所であってほしいものです。(駒場野公園自然観察舎より)



中目黒公園の鳴く虫たち



秋の夜、園内にはどんな虫の音が響き渡るでしょうか。よく聞こえてくるのは、ヒロバネカンタンやアオマツムシの声。茂みに近づけば「チッチッチ」というカネタタキや「キキキキ」というハラオカメコオロギの音が聞こえてきます。園内の多様な植物が、虫たちの家となり餌となっているのですね。

中目黒公園にはここに紹介した以外にもたくさんの鳴く虫が棲んでいるので、ぜひ聞きに来てみてください。(中目黒公園花とみどりの学習館より)

♪ 歩もう 野の鳥の歌が聞こえるまち 計画紹介その2

身近な自然を守り、いきものたちと共に暮らせるまちを未来に伝えていくため昨年4月から推進している『ささえあう生命の輪 野鳥のすめるまちづくり計画(目黒区生物多様性地域戦略)』をポイント紹介いたします。



目標2 自然とのふれあいを大切にしたいめぐろの暮らしを未来に伝えます

- 子どもたちが自然とふれあう原体験を大切に、学校教育などで人材を育成します
- 「歩いてみる・知る・耕す」一歩くことからはじめ、たくさんの楽しみを収穫します
- 自然の暦を大切にするなど、自然との関わりの中で育まれてきた文化を伝承します
- 生物多様性の理解を深め、生物多様性に配慮したライフスタイルへ転換していきます

(本編は区立図書館で閲覧できます)

現在調査中のいきものたち



いきもの調査は、無理をして探しに出かけなくても、日ごろの生活の中で出会ったものをお知らせいただいております。楽しみながら参加してください

お知らせいただく項目

- いつ(年月日)
- どこで
- なにを見た
- ようす・メッセージ

- いつも観察情報をありがとうございます。いただいた情報は、貴重な記録としてパソコンに集約しております。紙面の都合上全部をご紹介できないことをお許しください
- 調べるいきものたちのパンフレットをご希望の方は、係までお申し込みください。また、『めぐろのいきもの 80選』を目黒区総合庁舎、自然観察舎、花とみどりの学習館、目黒区書店商業組合加盟の書店などで販売中(1冊400円)です
- いただいた写真等は、通信員だよりのほか区発行の印刷物に使用することがありますのでご了承ください
- 通信員をおやめになりたいときや、転居のとき、お名前の誤りなどはお電話等でご一報ください
- 観察情報や写真は郵便・FAX・Eメール (sizen@city.meguro.tokyo.jp) でみどりと公園課までお送りください。お写真をいただくと、種類を見分けるのに役立ちます
- 通信員だよりはホームページからダウンロードできます。発行時にはメールでお知らせいたします。通信員だよりの郵送が不要の方は、メールでご連絡ください

ご参加ください！

いきもの住民会議開催！

身近ないきものを楽しむ

～昆虫の観察と記録のしかた

昨年の8月に開催し、大好評だった『東大駒場キャンパスの虫たち観察会』を、タイトルを変えて今年も開催！都市の『森』に隠れるいろいろな昆虫たちを探し、昆虫の不思議な生態を探ってみませんか？観察方法や採取法、調査や記録の仕方・まとめ方などを通して、生物多様性の大切さを楽しく学びます。



楽しいお話



みどり豊かな
東大構内

会 場: 東京大学駒場Ⅰキャンパス（仮）

日 時: 平成27年9月20日（日）9:30～12:00

（受け付けは9:00～）

講 師: 加藤俊英氏（東京大学教養学部附属教養教育高度化機構社会連携部門特任助教）

定 員: 30名（抽選）

対 象: おおむね小学校3年生以上（小学生は保護者同伴）

費 用: 保険料1人50円

申込方法: ハガキ又はファックスに、①講座名「身近ないきものを楽しむ」、②参加者全員の氏名・年齢、③住所・連絡先を明記し、9月11日（金）（消印有効）までに、みどりと公園課みどりの係へ。（参加人数が決定次第通知をお送りいたします。）

※参加者には、野外で使えるフィールドノートを差し上げます

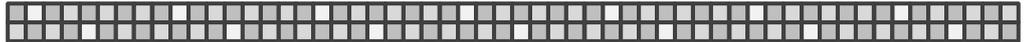
夏休みから1か月。この1か月で見られる昆虫はどう変わるのか、今年初めて昆虫採集する方はもちろん、今年夏休みの自由研究で昆虫採集を行った方も、虫たちの様子や変化をじっくり観察してみましよう！



目黒区いきもの住民台帳

『目黒区の野鳥』作成！

『目黒区いきもの住民台帳』は自然通信員や、区などの行った専門調査の結果を、目黒区に生息・生育する生物の種名リストとして集計したもので、2009年におよそ3000種類の動植物や菌類を掲載した暫定版を公開しています。今回はこのうち鳥類について、その後の観察情報などを含めて整理集計したものです。(A4 番 28 ページ)



区立図書館や目黒区 HP で内容をご覧ください。



【内容紹介】

●目黒区の野鳥の概要

目黒区の野鳥の記録種数は、在来種139種、外来等(外来種および飼育種)33種、合計172種です。渡りの区分別にみると冬鳥が41種と最も多く、旅鳥36種、留鳥29種と続きます。

渡りの区分(目黒区を基準に区分)

留鳥(りゅうちょう)：ある地域で一年中見られる鳥(カルガモ、スズメ、シジュウカラなど) **夏鳥**(なつどり)：春に南の地域から渡って来て繁殖し、秋には南の地域に渡る鳥(コアジサシ、ツバメなど) **冬鳥**(ふゆどり)：春から夏にかけて北の地域で繁殖し、秋に渡って来て越冬し、春には北の地域に渡る鳥(ウグイス、ジョウビタキ、ツグミなど) **旅鳥**(たびどり)：春秋の渡りの途中に見られるもの(キビタキ、エゾビタキ、サンコウチョウなど) **不明**：目黒区で観察例が極めて少なく(まれ)、冬鳥か旅鳥、迷鳥(本来の分布域から外れて渡って来た鳥)などの区分ができないもの **外来等**：外来種は、外国産の野鳥が、ペットなどとして輸入され、逃げたり放されるなどして野外で見られたもの。飼育種は、日本の野鳥だが、飼育されていたものが、同様に野外で見られたもの。

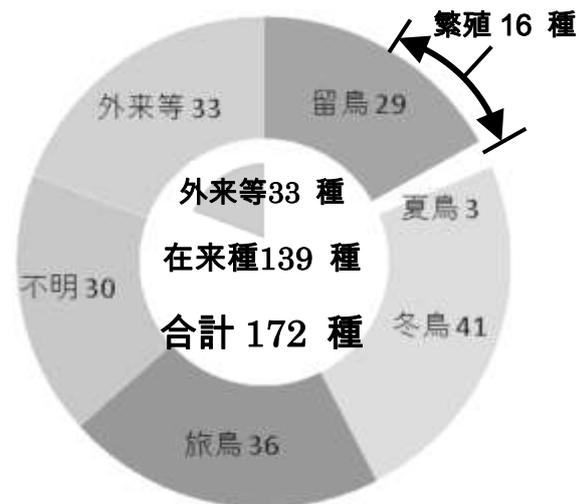


図4 渡りの区分別の種数

【観察記録の紹介】



57 コゲラ *Dendrocopos kizuki*

留鳥。繁殖。1980年代から区内で見られるようになり、各地で繁殖するようになった【記録】523件 ○1998年4月下目黒アンテナを盛んに叩く○1998年6月16日田道小学校(目黒)1羽 プールのヤゴ採り作業中上空通過○2004年5月7日駒場野公園シナノキで営巣



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

目黒区は区民の皆さまと共に、『生物多様性地域戦略 ささえあう生命の輪 野鳥のすめるまちづくり計画』を推進しています。